

Te Deum

この賛美歌の作者は伝統的にミラノの聖アンブロシウス（397 年没）または聖アウグスティヌス（430 年没）とされていた。現在ではこの賛美歌は 4 世紀に作られたことはほぼ確実であるものの、作者は不明であると考えられている。

①

Te Deum laudamus:

汝を 神を 我々は称賛する
代対 m 対 v1 複現

神、汝を我々は称賛する

te Dominum confitemur.

汝を 主を 我々は承認する
代対 m 対 v1 複現

主、汝を我々は承認する

Te aeternum Patrem

汝を 永遠の 父を
代対 形 m 対 m 対

汝を、永遠の父を

omnis terra veneratur.

すべての 地は 崇拜する
形 f 主 f 主 v3 単現(veneror)

全地は崇拜する。

Tibi omnes Angeli;

汝に すべての 天使は
代与 形複主 複主

汝に、全ての天使は

tibi caeli et universae potestates.

汝に 天の 万物・全体の 権力者たちは
代与 n 属 形 f 複主 f 複主

汝に、天の、万物の権力者たちは

Tibi Cherubim et Seraphim

汝に ケルビムは セラフィムは
代与 m 複主(単 Cherub) 複主

汝に、ケルビムとセラフィムは

incessabili voce proclamant:

絶え間ない 声で 宣言する
形奪 f 奪(vox) v3 複現

絶え間ない声で宣言する。

Sanctus, (3 回) Dominus Deus Sabaoth.

聖なるかな 主 神 万軍の
形 m 主 m 主 m 主 <ヘブライ語>

聖なるかな、万軍の主なる神

Pleni sunt caeli et terra

充ちている 天は ～と 地は
形 m 複主 beV.3 複現 m 複主 f 主

天と地は満ちている

majestatis gloriae tuae.

威厳 栄光 汝の
f 属 f 属 形 f 属

汝の威厳と栄光によって。

plenus 「(属格または奪格によって)充たされた」

Te gloriosus Apostolorum chorus;

汝を 栄光ある 使徒たちの 合唱が
代対 形 m 主 m 複属 m 主

汝を栄光ある使徒たちの合唱が

Te Prophetarum laudabilis numerus;

汝を 預言者たちの 誉むべき 集団が
代対 m 複属 形 m 主 m 主

汝を預言者たちの誉むべき集団が

Te Martyrum candidatus laudat exercitus.
汝を 殉教者たちの 白衣を着た 誉める 群れは
代対 m 複属 形 m 主 v3 単現 m 主

汝を殉教者たちの白衣を着た群れが誉める。

Te per orbem terrarum
汝を ~中で 円形 地の
代対 prep(対) m 対 f 複属

汝を大地のいたるところで

「orbis=円、輪、球」ただ4世紀には地球球体説は認められてない
「per--~じゅういたるところで」

sancta confitetur Ecclesia:
聖なる 承認する 教会は
形 f 主 v3 単現 f 主

聖なる教会は承認する、

Patrem immensae majestatis;
父を 無限の、計り知れない 威厳の
m 対 形 f 属 f 属

計り知れない威厳の父を、

Venerandum tuum
尊敬に値する 汝の
形 m 対 形 m 対

汝の尊敬に値する

verum et unicum Filium;
真の 唯一の 子を
形 m 対 形 m 対 m 対

真の唯一の子を、

Sanctum quoque Paraclitum Spiritum.
聖なる さらにまた 擁護者を 霊を
形 m 対 副 m 対 m 対

さらにまた擁護者たる聖霊を（承認する）。

Tu Rex gloriae, Christe.
汝 王 栄光の キリストよ
代呼 m 呼 f 属 m 呼

汝、栄光の王、キリストよ。

Tu Patris sempiternus es Filius.
汝は 父の 永遠の である 子
代主 m 属 形 m 主 beV2 単現 m 主

汝は、父の永遠の子である。

Tu ad liberandum suscepturus hominem,
汝は ~のため 解放されるべき 保護下に受け入れる予定の 人
代主 prep(対) V.動形 V 未来分詞 m 対

解放されるべき保護下に受け入れる予定の人のために
汝は、人を解放し受け入れるために
libero(解放する)動形容詞 (gerundivum ~されるべき)
suscipio(保護下に受け入れる)未来分詞 (~する予定の)

non horruisti Virginis uterum.
~ない 恐れた 処女の 子宮を
V2 単完 f 属 n 対

処女の子宮(から生まれることを)を恐れなかった。

Tu, devicto mortis aculeo,
汝は 征服された 死の 毒針
代主 形 m 奪 f 属 m 奪

汝は死の毒針を征服し

devinco 征服する→受動充分 devictus

aperuisti credentibus regna caelorum.
開いた 信じている 王国を 天を
V2 単完 V 現分→形複与 n 複対 n 複対

信ずる者に天の国を開いた。

aperio 開く、credo 現分 credens

Tu ad dexteram Dei sedes,
汝は ~に 右 神の 座する
代主 prep(対) f 対 m 属 v2 単現

汝は神の右に座する

in gloria Patris.
~において 栄光 父の
prep(奪) f 奪 m 属

父の栄光の中で。

Judex crederis esse venturus.

審判者は 信じられている である 来るだろう
m 主 v2 単未来受動 beV 不定詞 v 未来分詞.形 ms

審判者は来るだろうと信じられている。

②

Te ergo quaesumus,

汝を 故に 我々は願う
代対 接 v1 複現 quaeso → quaesimus

故に我々は汝に願う

tuis famulis subveni,

汝の 下女たちを 助けよ
代形複奪 f 複奪 V2 単命令(奪)

汝の下女たちを助けたまえ、と

quos pretioso sanguine redemisti.

それを 貴重な 血によって 汝があがなった
m 複対 形 m 奪 m 奪 V2 単完

汝が貴重な血によってあがなった(下女たちを)。

③

Aeterna fac cum sanctis tuis

永遠な ~せしめよ ~とともに 聖者たち 汝の
形 n 複主 V2 単命 prep(奪) m 複奪 形 m 複奪

汝の聖人たちとともに、永遠に

in gloria numerari.

~において 栄光 数えられる
prep(奪) f 奪 V 現受不定詞

栄光のうちに数えられるようにしたまえ。

④

Salvum fac populum tuum, Domine,

安全な ~せしめよ 民を 汝の 主よ
形 m 対 V2 単命 m 対 形 m 対 m 呼

汝の民を安全たらしめたまえ、

et benedic haereditati tuae.

そして 祝福せよ 継承者を 汝の
接 V2 単命(与) f 与 f 与

そして汝の継承者を祝福したまえ。

Et rege eos,

統治せよ 彼らを
V2 単命 代 m 複対

そして彼らを統治したまえ、

et extolle illos usque in aeternum.

高揚せよ 彼らを ずっと ~に 永遠
V2 単命 代 m 複対 副 prep(対) m 対

そして彼らを永遠にずっと高揚したまえ。

Per singulos dies benedicimus te.

~の間 一つずつ各々の 日 我々は祝福する 汝を
prep(対) 形 m 複対 m 複対 V1 複現 代対

日々ずっと我々は汝を祝福する。

Et laudamus nomen tuum

我々は称賛する 名を 汝の
V1 複現 n 対 代対

そして汝の名を祝福する

in saeculum, et in saeculum saeculi.

~の間 世代 ~の間 世代 世代の
prep(対) n 対 prep(対) n 対 n 属

永遠にいつまでも。

Dignare, Domine, die isto

～と決心せよ 主よ 日 その
V2 単受命令 m 呼 m 奪 代形 m 奪

sine peccato nos custodire.

～無しに 罪 我々を 守る
prep(奪) n 奪 代複対 V 不定詞

Miserere nostri, Domine, miserere nostri.

憐れめ 我らを 主よ
V2 現命 代 n 属(← noster) m 呼

Fiat misericordia tua, Domine, super nos,

なるように 憐みが 汝の 主よ ～の上に 我々
V 接 3 単現(fio) f 主 所形 f 主 m 呼 prep(対) 代対

quemadmodum speravimus in te.

そのように 我らは乗り越えた ～に従って 汝
副 quem-ad-modum V1 複完(spero) prep(対) 代対

⑤

In te, Domine, speravi:

汝に従って 主よ 私は乗り越えた
prep(対) 代対 m 呼 V1 単完(spero)

non confundar in aeternum.

混乱させられないだろう ～の内に 永遠
V1 単未来受動 prep(対) n 対

※①～⑤はブルックナーの曲の切れ目

番外編：歌劇「トスカ」第1幕ラストシーンでは

Te Deum laudamus: te Dominum confitemur.
Te aeternum Patrem omnis terra veneratur.

神、汝を我々は称賛する。主、汝を我々は承認する。
汝を、永遠の父を、全地は崇拜する。

と、Te Deum の冒頭が歌われる前に、以下の合唱がある。(2行とも、前半が司祭、後半が合唱)

Adjutorum nostrum in nomine Domini, / qui fecit coelum et terram

助手たちの 我らの ～において 名 主の 作った 天を と 地を
m 複属 代複属 prep(奪) n 奪 m 属 関主 V3 単完 n 対 接 f 対

我らの助けは、天と地を造られた主の名にある (詩篇 124 - 8 節)

Vulgata では 123

sit nomen Domini benedictum / et hoc nunc et usque in saeculum

beV 名が 主の 祝福される これは 今 ～まで 永遠に
3 単現.接 n 主 m 属 形 n 主 副 副 副

主の名が祝福されますように 今もそして永遠に (詩篇 113 - 2 節)

Vulgata では 112

その日、主よ、決心したまえ

digno(形式受動相動詞)
dies は男性・女性どちらもあり

罪の無いように我々を守る、と。

我らを憐れみたまえ、主よ

miserereor(形式受動相動詞)、「(属格を)憐れめ」

主よ、汝の憐みが我らの上に行われますように、

汝に従ってそのように我らは乗り越えてきたのだ。
(生き残ってきた)

主よ、汝に従って私は乗り越えてきたのだ。

私は永遠に惑うことはないだろう。